

令和元年度 「学校教育活動に関する評価」アンケートの結果 及び 学校関係者評価表

浦安市立明海南小学校

評価領域	本年度の重点目標	具体的取組 (具体的な指標等)	アンケート内容とその結果		学校関係者評価委員会の意見	成 果◎ ・ 課 題○
			質問項目 児童：(児) 保護者：(保) 教職員：(教)	結果		
確かな 学力	基礎・基本の定着を重視し、自ら学ぶ意欲と態度、確かな学力を育成する。	○TTや習熟度別学習など学習形態や指導方法を工夫して、学習展開する。 ○「ぐんぐんタイム」や「振り返り週間」等による補足的な学習の時間を確保する。	(児)授業中、すすんで学習していますか。 (児)学校での授業はわかりやすいですか。 (保)お子さんは、自分から進んで学びますか。 (保)学校がお子さんの学力向上のため、T.Tや少人数指導を行っていることを知っていますか。 (保)教職員は、個々のよさを引き出すよう子どもをよく見ながら、個に応じた支援をしていますか。 (教)主体的な学びになるよう工夫していますか。 (教)児童の実態をつかみ、学習形態や学習方法を工夫して、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導に努めていますか。 (教)あなたは、小学校と中学校段階の教育の役割を認識し、小・小・小・中、幼・小の各連携を深めていますか。	92% 90% 89% 88% 92% 100% 92% 66%	全ての教職員が、児童の主体性を引き出す取り組みを行い、結果から高い達成感を感じ取ることができる。 どのような教育活動や地域活動を行っているのか、幼・小・中学校の連携も含めて、保護者・教職員に対しても継続して説明していくことを今後も期待している。	◎「自分から進んで」では児童、保護者とも高い数値を維持している。また、授業がわかりやすいという児童も多く、T.Tや少人数での授業により達成感を感じていることが伺える。教職員も本校の課題である「表現力の育成」に向け、主体的な学びとなるよう工夫している。○さらに「わかる」「できる」につながるよう授業改善を図る。また、話し合い活動を積み重ねることで、主体的・対話的な学びの実現に努めたい。
豊かな 心	道徳教育の充実を図り、豊かな人間性と感性を育成するとともに、いじめのない明るい学校を目指す。	○道徳科の時間の確保し、考えて議論する道徳の授業の展開、「新しい道徳」を活用した指導の工夫を図る。 ○福祉教育に係る体験活動を行う。 ○特別支援学級や異学年との交流を充実させる。	(児)学校で、まわりの人にやさしくしていますか。 (保)お子さんに思いやりや優しさ、感謝の気持ちがありますか。 (保)本校のいじめ防止基本方針(HP掲載)を知っていますか。 (保)学校はいじめなどのない楽しい学校づくりを努めていますか。 (保)本校に特別支援コーディネーターがいることを知っていますか。 (教)児童に思いやりや優しさ、感謝の気持ちがあるような適切な対応、声かけをしていますか。 (教)あなたは「わたしたちの道徳」の活用をはじめ、「豊かな人間関係作り」「命の大切さ」に重点をおいて道徳の授業の充実を図り、いじめのない明るい学校づくりを努めていますか。 (教)あなたはいじめや霸凌の状況に対し、毅然とした態度で取組むことができますか。	88% 95% 90% 83% 92% 100% 100% 100%	小さなよくあるようなトラブルでも、放置すると大きくなる。素早く対応していると感じます。 常に教職員の思いは児童の内に響く言葉を用い、あたたかい声かけと評価をしている姿が見え取れる。 「いじめ防止基本方針」は学校HPのみではなく、毎年保護者に対して説明会で伝えていくことが求められる。	◎ほぼ2ヶ月に1回行われる「生活アンケート」の結果をもとに、聞き取りを行い、月1回の生徒指導部会で全職員に報告し、共通理解を行っていることで、児童は安心して話すことができている。そのことが保護者の数値に現れていると考えられる。 ◎肯定的評価は高い。今後も体験活動や様々な集団での異学年交流をとおして、思いやりやいたわりの心など心の健全育成に努める。 ◎教員の意識も高く、「道徳の時間」を確保し、考えて論議する道徳授業となるよう努めている。また、学習活動参観において、道徳科を公開し、保護者との連携や地域とのかわり方を深めるよう取組んでいる。
健やかな 体	健康教育の推進と体力の向上を図る。	○外部講師を活用した食育授業・命の学習を行う。 ○業間休みや昼休みを活用し、体育の日常化に向けた取組を行う。	(保)学校がお子さんの体力向上をめざした取組を行っていることを知っていますか。 (教)児童が楽しく学校生活を送れるよう対応していますか。 (教)児童の体力向上にむけ工夫していますか。	80% 92% 95%	マラソンや長縄など、クラスが一つにまとまることを実感できる活動である。みんなで喜び、悔しがることが学びである。 年間を通して、教職員の指導と集団の力で体力向上を図る教育が行われていたと高く評価できる。しかし、保護者や地域へしっかりと伝わればやや残念に感じる。	○マラソンや縄跳び等、年間を通して取り組んでいる。今年度は自分やグループのきろくを伸ばすことに意識して取組んだ。今後も、自分の成長を感じられるような取り組みを行っていく。 ○社会人活用を通して、技術面向上と興味関心の高まりを図る。
豊かな かかわり	コミュニケーション能力を身に付け、人との関わりを大切に活動する意欲と態度を育てる。	○「共感的理解」の醸造、「表現する力」の育成を目指した研究を行う。 ○様々な集団での異学年交流を行う。 ○あいさつ運動を行う。	(児)すすんであいさつをしていますか。 (保)お子さんは、進んであいさつをしていますか。 (教)進んであいさつをするよう声かけをしていますか。 (教)あなたは、保護者及び地域の方々など、多様な人材を教育活動に登用し、学校(または学年)の活性化を図っていますか(キャリア教育・カリキュラムマネジメント) (教)あなたは校内研の充実を図り、教科の実践研究を通して専門性を高め、資質の向上に努めていますか。	79% 87% 100% 83% 100%	挨拶については、教職員だけでなく、保護者・地域も巻き込んだ挨拶に取組んでいくことが大切である。見守りの際、保護者から明るく声掛けしていくとよいと感じた。	○挨拶については朝の登校の見守りでも出されているが、保護者の数値が低い。学校の気持ちよいスタートのためにも、教員が率先して挨拶をし、相手意識をもった挨拶ができるよう行なっていきたい。 ○校内研では、「共感的理解ができる児童の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」という主題のもと全教科で研究授業を行った。どの教科においても手立てを明確に挙げ取組んだこと、各教科で講師を招聘し、指導を受けることで、教員の学びという意識が高まった。
郷土愛	生まれ育った明海南に誇りを持ち、地域の人や施設等を大切に心や態度を育てる。	○町探検や安全マップ・福祉マップの作成等により、地域を理解する。 ○地域を教材とした教育活動を実施し、学習活動参観などを通して、保護者や地域との関わりを深める。	(児)マナーを守り、地域にあるもの、皆で使うものなどを大切にしていますか。 (児)あなたは地域の活動に、進んで参加していますか。 (保)お子さんは、公共マナーを守り、地域の環境や施設等を大切にしていますか。 (保)お子さんは、きまりや約束事を守っていますか。 (保)お子さんは、地域の活動や行事に進んで参加し、地域の方と交流していますか。 (教)児童が公共マナーを守り、地域の環境や施設等を大切にしている声かけをしていますか。 (教)児童が参加する地域の活動や行事について紹介していますか。	91% 78% 90% 89% 64% 96% 67%	公共マナーや地域環境を大事にしている姿勢はとても優秀だと感じる。 地域の集まりを促す行事が充実した街で、子ども同士誘い合って参加している。オヤジの会などはありがたい。今後は子ども達とシニアの方々がつながることを期待している。	◎6年生では防災の学びを通して考えたことを発表した。1,000ヶ所ミニ集会で地域の方々とともに地域の防災について意見を交換することができた。 ○今後も全学年で地域を教材とした教育活動を実施していく。 ○地域への活動の参加について、保護者は昨年度に比べ10%減少しているものの、児童は7%増加している。昨年度の課題でもあった教員による地域行事への意識は24%増加している。今後も地域の活動に関して提示していく。
危機管理 体制の整備	安全点検を生かし、危機管理に努める。	○安全点検の確実な実施により事故やけがを未然に防ぐ体制を築く。 ○不審者侵入、火災発生、地震発生に対する避難体制、地域と連携した防災体制を整備する。(外部施設との連携)	(児)困った時やなやんだ時に、相談できる人がいますか。 (保)教職員は、子どもの人権を尊重し、お子さんが困ったときなど適切に対応していますか。 (保)学校は子どもたちが安心して通わせられる環境になっていますか。 (教)学校事故を未然に防止するため、子どもの危険予知能力や危険回避能力の育成に努めていますか。	89% 93% 95% 100%	非常時に向けて、連絡体制を整備したり、訓練したりしている。実際に緊急通報を作動した避難体制を実施していることは心強い。	◎子どもへの対応については、児童は相談できる存在の認識が高い。保護者についても高く、年に数回行なわれるアンケートをもとにした面談や、担任、養護教諭、学校支援コーディネーター、SLCのかかわりが大きいと考えられる。 ◎毎月の安全点検実施により、校内の安全管理に努めることができた。 ○不審者対応訓練を行い、校内体制について助言から見直しを行なった。 ○本年度は消防署と連携した避難訓練を小中合同で実施することができ、小中の動きなど、改善点を洗い出すことができた。
学校の 教育目標の具現化	夢と希望をもち、未来にはばたく児童の育成	○人間性豊かな児童の育成のため創意工夫のある教育活動の推進に努める。 ○明海中学校との連携活動や明海地区子ども会等との交流活動を行う。	(児)学校へ行くのは楽しいですか。 (児)今、自分には自信(得意なものなど)がありますか。 (保)お子さんは学校へ楽しんで通っていますか。 (保)お子さんは、自分に自信(得意なものなど)がありますか。 (教)保護者及び地域の方々など、多様な人材を教育活動に登用し、学校(または学年)の活性化を図っていますか。	82% 89% 84% 87% 83%	自己肯定感の高い児童が多い。学校が今後も、子どもにとって楽しい学びの場であること、強み・弱みを正しく理解し、現在のように、自己肯定感が育まれる場であり続けたいと願っている。	◎学校へ通う楽しさについては児童・保護者とも楽しいという数値が高い。学校生活が概ね良好であることが伺える。 ○児童89%・保護者87%が、自信(得意なものなど)については肯定的評価をしている。 ◎明海中学校区で小中音楽会を開催し聴き合うことができた。また児童会・生徒会が中心となって小中交流会を企画運営し実施できた。 ◎今年度は生活科や総合的な学習の時間を中心として、多様な人材を活用し、創意工夫のある様々な交流・体験活動を計画することができた。

授業、行事、施設等に関する保護者のみなさんの意見・感想

- ・挨拶に力を入れてほしい 【来年度の中学校区の重点として「あいさつ」に取組んでいきます。教職員が明るい挨拶を交わすこと、保護者の方々にもご協力いただき、挨拶運動を推進していきます。】
- ・子どもの「自己肯定感」を育てるような取り組みをしてほしい。その際、取り組みやアドバイスなど情報発信してほしい【道徳の授業時間を確保し、授業の中で、考え、意見を交わすなどの活動を今後も継続して取組んでいきます。また、取り組み内容について、情報発信に努めます。】
- ・英語もレベル別の指導等があるといい・触れる機会を増やしてほしい【小学校外国語活動(英語)のねらい「コミュニケーション能力の育成」に沿って授業を進めています。英語ルーム等の環境の整備に努めてまいります。】
- ・マラソンでは順位が高くてもおごらない・我慢しない、低くてもへこたれないことを教えてほしい【体力向上をねらいに取組んでいます。子ども達が自分の目標に向かい、成長や達成感を感じられるような取り組みを進めていきます。】
- ・運動会のお弁当を児童のみにすると、保護者の負担が減る(体育館も混んでいたため)【熱中症予防の観点から、運動会については検討していきます】
- ・悪天候の際、気象情報をもとに対応してほしい。例:裏門から下校など【児童の安全を第一に、連絡メールによる連絡・情報発信を充実させていきます。悪天候等の場合は、そのつど対応してまいります】

☆その他のご意見に対しても、全職員で共有し、改善すべきところは見直し、来年度の教育活動に生かしてまいります。 ご協力ありがとうございました。